

沖縄県、関東からの客が4割超

27年度「沖縄県観光統計実態調査」から

沖縄県では、日本人観光客の実態を把握し、観光施策の企画・立案・評価に資することを目的として、沖縄を訪問する日本人客を対象としたアンケート調査「観光統計実態調査」を実施している。平成27年度分の調査結果から、沖縄県の県外客の旅行内容部分を抜粋して紹介する。

居住地では、関東が42%調査で女性が多く、第1位の比率が増加する。30代と最も多く、10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上、90代以上の比率が増加する。20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上、90代以上の比率が増加する。20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上、90代以上の比率が増加する。



人気の守札門

旅行先は84%が沖縄本島を訪ね、残りは宮古島と石垣島を訪問している。観光地めぐりは、石垣島と宮古島と「マリンレジャー」が人気である。また「海水浴」も人気である。

40代の来島が26% 84%が沖縄本島訪問 観光地めぐりがメイン

調査期間に見ると、初の調査で40代、50代、60代、70代、80代以上の比率が増加する。20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上、90代以上の比率が増加する。

クルーズ船の寄港も増えている。クルーズ船は、観光客の増加に伴って、沖縄県に寄港する回数が増えている。クルーズ船は、観光客の増加に伴って、沖縄県に寄港する回数が増えている。

クルーズ船の寄港も増えている

県外客の属性と旅行内容

属性	H27年度		第1回調査		第2回調査		第3回調査		第4回調査	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
居住地	14,433	100%	10,000	100%	10,000	100%	10,000	100%	10,000	100%
性別	7,217	50%	5,000	50%	5,000	50%	5,000	50%	5,000	50%
年代	2,258	16%	1,500	15%	1,500	15%	1,500	15%	1,500	15%
世帯年収	1,200	8%	800	8%	800	8%	800	8%	800	8%
訪問回数	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%	700	7%
前回来訪時期	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%	700	7%
同行者	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%	700	7%
旅行先	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%	700	7%
泊数	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%	700	7%
宿泊施設	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%	700	7%
活動	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%	700	7%

調査データ

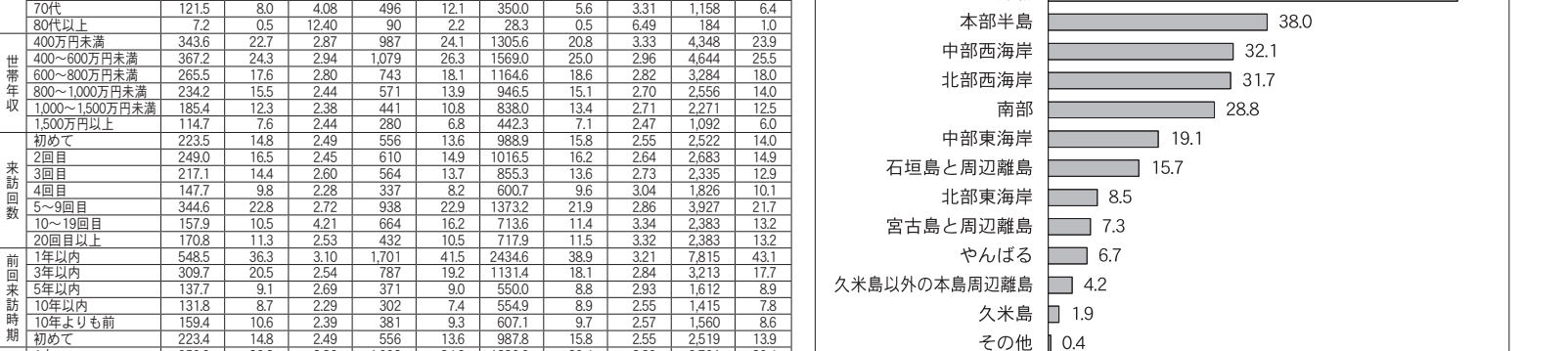
四半別県外客マーケット

属性	4-6月		7-9月		10-12月		H28年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
居住地	14,433	100%	10,000	100%	10,000	100%	10,000	100%
性別	7,217	50%	5,000	50%	5,000	50%	5,000	50%
年代	2,258	16%	1,500	15%	1,500	15%	1,500	15%
世帯年収	1,200	8%	800	8%	800	8%	800	8%
訪問回数	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%
前回来訪時期	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%
同行者	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%
旅行先	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%
泊数	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%
宿泊施設	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%
活動	1,000	7%	700	7%	700	7%	700	7%

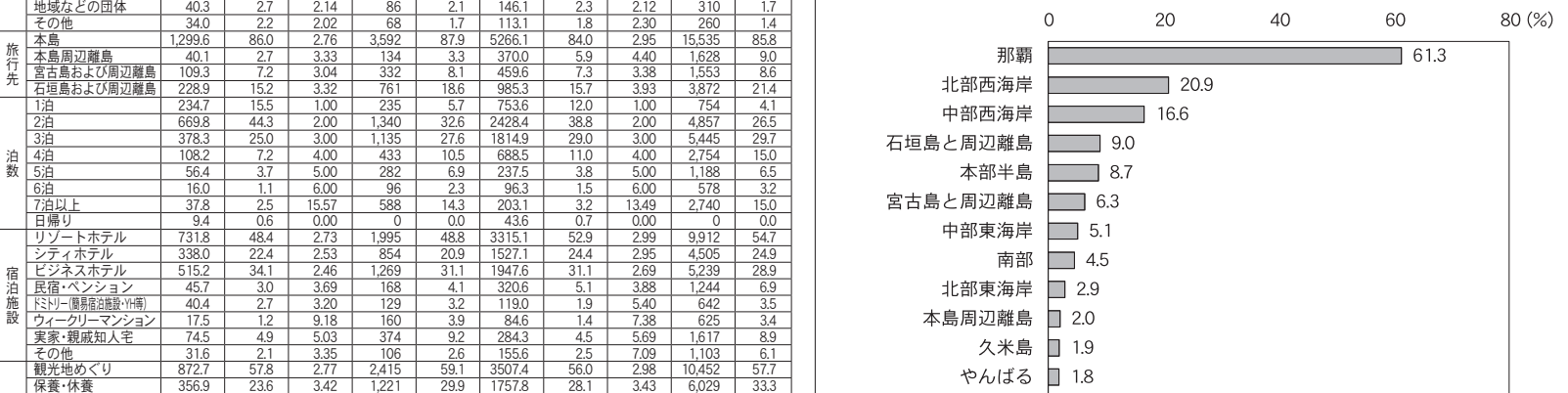
平成27年度観光統計実態調査の調査概要

調査項目＝旅行属性、旅行内容、消費額、主要離島調査、満足度調査。調査時期＝毎月金曜・日曜の2日間を年4回実施。調査対象＝航空機を利用して県外へ出城する日本人客（観光客）。

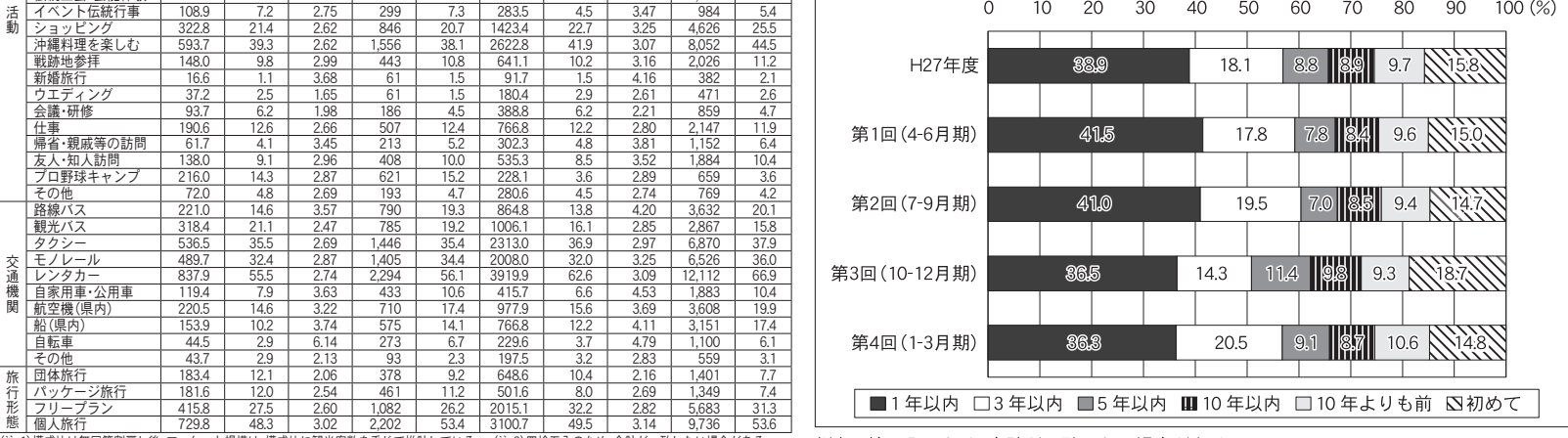
訪問地域（複数回答）



宿泊地域（複数回答）



前回の沖縄旅行との間隔（前回来訪時期）



注) 四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。